様式　2

団体概要書

令和　7年　11月　7日　現在

団体名	(フリガナ)ちょうきにゅういんのこどもとつきそいかぞくをささえるかい　ばい　えぬぴーおーほうじんいなんくる 長期入院の子どもと付き添い家族を支える会byNPO法人イナンクル		【活動風景】 
代表者 役職・氏名	代表理事　綿谷　千春		
団体所在区	札幌市西区		
主な活動場所	札幌市内		
電話番号	090-1382-0338		
メールアドレス	tukisoisasae.sapporo@gmail.com		
HPアドレス	https://www.inankul.com/		
設立年月	2020年12月	活動開始年月	2021年　2月
設立目的	NPO法人イナンクルは、病気や入院という状況にあっても、 子どもたちとそのご家族が「どこにいても病気になる前と変わらない生活」を送ることができるように家族をまるごと支援することを目的として設立いたしました。 入院中であったも子どもと付き添う家族の“日常”を取り戻し、安心して笑顔で過ごせる社会を目指しています。		
活動内容	当法人は、札幌市内の小児がん拠点病院である北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、北海道子ども総合医療・療育センター(コドモックル)、札幌北楡病院の4病院の小児病棟と提携し、こだわりの飲食店によるお弁当やパンを定期的にお届けしています。この活動は、入院中の子どもに付き添うご家族へ、少しでも「家庭の食卓に近い食事」を届けたい、そして病棟の中でも普段と変わらない食生活を送ってほしいという思いから始まりました。また、退院後の心身の疲れを癒やすためのリフレッシュケアサポート、子どもの病状悪化などにより急遽付き添えなくなった際にご利用いただけるお泊まりスペースの提供なども行っています。 これらの活動はいずれも、実際に病棟で過ごす付き添い家族の皆さまの声から生まれたものです。わたしたちは、入院中も退院後も、子どもと家族を「まるごと支える」ことを目的に、日々活動を続けています。		
活動実績	2020年12月に設立し、2021年の2月に無添加食品のセットの差し入れがスタートし、その後2021年5月、北大病院にお食事をお届けできるようになりました。さらに2022年6月に札医大病院、2024年4月にコドモックル、同年11月に札幌北楡病院にお食事提供をスタートしています。 2024年度の一年間でお食事をお届けした総数は、延べ1976 食(311 人)となり 多くの病気になった子どもと付き添い家族がお届けした食事でほっとしたり「いつも楽しみにしています！おかげでがんばれます」といった喜びの声が届いています。		
活動分野	■ 1　保健、医療、福祉の増進	□ 10　人権の擁護又は平和の推進	
	□ 2　社会教育の推進	□ 11　国際協力の活動	
	□ 3　まちづくりの推進	□ 12　男女共同参画社会の形成の促進	
	□ 4　観光の振興	□ 13　子どもの健全育成	
	□ 5　農山漁村又は中山間地域の振興	□ 14　情報化社会の発展	
	□ 6　学術、芸術、文化又はスポーツの振興	□ 15　科学技術の振興	
	□ 7　環境の保全	□ 16　経済活動の活性化	
	□ 8　災害救援活動	□ 17　職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する	
	□ 9　地域安全活動	□ 18　消費者の保護を図る活動	
	□ 19　前掲の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助		

※記載欄が不足する場合など、この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます